



会話を楽しもう

校長室に2年生のある児童が訪れた際、「これなんですか？」と尋ねてきました。「名前やラベルを作る器械だよ」と教えると、使ってみたような表情だったので「試しに自分の名前を打ってみよう」と、習っていないローマ字入力に苦戦しながらも、印刷される自分の名前を見て驚いていました。「自分の力で文字が打てると楽しいよね」ということで、その児童にローマ字の50音表を渡しました。

そのことを知った他の児童から「私も欲しい」とお願いがあったので、ローマ字の50音表を渡しました。が、最初に渡した児童と同じ物がなく、改めて新しい50音表を作り渡したのですが、そこで最初の児童に渡した50音表に「っ」の入力方法を入れなかったことに気がきました。

数日後、最初に渡した児童に「タブレット使う時、困ることない？」と尋ねたら、『っ』が打てなくて困っているんだ」と答えが返ってきました。「しっかり使っているんだ」と思いながら、新しい50音表を渡しました。(自分の力を発揮したい、要求を伝えられることが主体性のスタートライン)

熊谷市本のふれあい事業で、各学年でボランティアに読み聞かせを行っていただきました。1年生は「しっぽのはたらき」という絵本で、読み聞かせが始まりました。さる、うし、カンガルー等、様々な動物の尻尾の働きを楽しく伝える絵本です。読み聞かせが続く中、ある児童が表紙のとりだけ名前が出てこないことに気づき、ボランティアの方に質問しました。ボランティアの方も、まさか表紙の鳥の名前を尋ねられるとは思わず、「調べとくね」が精一杯の答えでした(サンショクキムネオオハシかな)。お帰りの際、「長いこと市内の小学校で読み聞かせを行ってきたが、表紙の鳥の名前を尋ねられたのは初めてです」とおっしゃっていました。「1年生全員の聴く姿勢や態度が良い」とお褒めの言葉をいただきましたが、この言葉もうれしい言葉になりました。(疑問や知りたいと、わかりたい思うことが学びのスタートライン)



川田 健一 監修
川田 健一 監修
今泉 真由美 監修

2月14日(月)、大人として雪は面倒でやっかいなものですが、子供たちにとってはわくわく、ドキドキ。朝、南門で登校を待っていると、2年生と3年生が滑り台にうっすら積もる雪を見て「校長先生、大根おろしがあるよ」と教えてくれました。「おー、そっくりだね」「みんなは、大根おろしをかけて食べる食べ物って何か知ってる?」「例えば、大根おろしとんかつ」、3人「あー!」、イメージはあるようです。『別の言い方で、「〇〇とんかつ」って言うけど、「〇〇」ってわかる?』さすがに出てこないようで、『「みぞれ」って聞いたことある?』で再び「あー!」ここで「大根おろしに似ている雪の状態」=「みぞれ」が結びついたようです。(ことばと体験の幅が広がり、そしてイメージ化が読解力のスタートライン)

子供たちは少しの時間でも、自分の体験や思っていること等、いろいろな事を伝えます。また時に、「言葉とは逆の思いを伝えているのかな」と感じることもあります。

ぜひ共感的に、肯定的に話を聴き、会話してください。子供の知らなかった一面が発見されるかもしれませんよ。

クラブ発表会 ～リモートで発表～

1月25日（火）にクラブ発表会を行いました。今回は、感染症対策としてリモートでの開催となりました。それぞれのクラブの良さを画面を通してアピールし合いました。初めての試みでしたが、どのクラブも工夫した発表となりました。



全国学校給食週間 ～「食」という字は「人」を「良」くすると書きます～



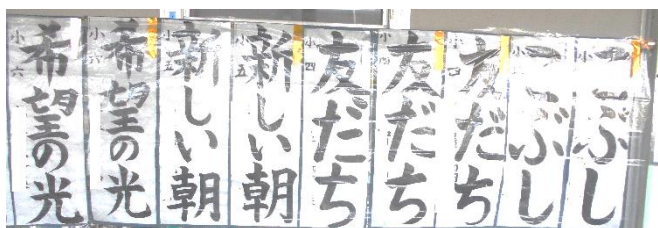
1月24日～30日は全国給食週間でした。本校では、給食集会（Teamsでの開催）を行ったり、お昼の放送で、給食標語や給食作文を発表したりしました。職員室前の掲示板には左のような給食ポスターも掲示してあります。

薬物乱用防止教室 ～ダメ。ゼッタイ。～

2月7日（月）に5・6年生対象による「薬物乱用防止教室」が行われました。学校薬剤師による専門的な知識と経験をもとにお話をしてくださいました。タバコやアルコール、危険ドラッグなどについての危険性もわかりやすく説明していただきました。



熊谷地区書きぞめ展覧会 ～美しいものを 美しいと思う あなたの心が美しい～



熊谷地区書きぞめ展覧会で受賞された子供たちの作品を1階廊下に掲示してあります。どの文字も心を込めた力作です。学校にお越しの際はぜひ、ご覧ください。
受賞おめでとう！

裏面もあります